

1 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析、医師確保、育成のための対策の検討

(1) 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析

イ 看護職員等

今回の医療法等改正法により、令和6年(2024年)4月の医師の時間外労働上限規制の導入に向けた医師の働き方改革の推進を図るため、各医療機関では、医師の適切な労務管理を推進するとともに、医師以外の医療従事者の業務範囲の拡大・明確化等によるタスク・シフト/シェアの推進が求められている。(図2-65)

また、今後は団塊の世代が75歳以上となり、受療率の高い高齢者のさらなる増加が見込まれることから、介護予防・重度化防止の推進や、在宅生活を支える医療・介護の一体的な提供が求められている^{*2-11}。

このように、医師以外の医療従事者や介護従事者の需要は一層増加することが見込まれるが、国全体が既に人口減少局面に入っており、今後、就業者数は大きく減少することが見込まれている中、医療・福祉人材の需要は増加することから、人材確保が大きな課題となっている。(図2-66)

本県においても、医療・福祉人材(特に看護職員、介護職員)の需給ギャップが課題とされている^{*2-11,12}が、医師の需給と関連した検討は十分ではない。

本報告書では、医師の働き方改革を推進する上で最も鍵となる看護職員(看護師・准看護師)の状況を中心に、助産師・保健師についても検討を加えた。これらの職種では、保健師助産師看護師法に基づき、免許取得者のうち就業している者^{*2-13}は2年ごとに、従事先や雇用形態等を就業地の都道府県知事に届け出る(直近は令和2年(2020年)12月31日時点)ことになっている。厚生労働省は、各都道府県からの報告を集計し、「衛生行政報告例(隔年報)」として公表している。

*2-11 静岡県健康福祉部ホームページ：第9次静岡県長寿社会保健福祉計画。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-210/chouju/keikaku/dai9zikeikakusakutei.html>
(令和4年3月28日確認)

*2-12 静岡県健康福祉部ホームページ：第8次静岡県保健医療計画。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-410/hi-keikaku.html> (令和4年3月28日確認)

*2-13 医師の場合、届出日時点における就業の有無に関わらず、医師法第6条第3項に基づく届出が義務づけられているが、保健師助産師看護師法第33条に基づく届出は、届出日時点で就業している者のみが対象となっている。

(7) 就業看護職員数(実人数・常勤換算数・常勤率・人口10万対数/全県・全国/2010・2020年)(総括表：表2-33~35、看護職員等：表2-36~38)

令和2年(2020年)12月31日時点の届出に基づく静岡県の看護師数・准看護師数・看護職員数(看護師数+准看護師数)(実人数)は、それぞれ34,536人、5,977人、40,513人であった。これを10年前の平成22年(2010年)と比較すると、看護師数で8,628人、看護職員数で7,021人、それぞれ増加した一方、准看護師数は

1,607人減少した。直近の10年間で、本県における看護師の増加率は全国と比べ低かったが、准看護師の減少率が低かったため、結果として、看護職員全体の増加率は全国を上回った。

また、各就業者に常勤換算率を掛けた数値を足し上げた常勤換算数では、看護師数・准看護師数・看護職員数（看護師数＋准看護師数）は、それぞれ31,155.1人（常勤率90.2%）、5,081.8人（常勤率85.0%）、36,236.9人（常勤率89.4%）であった。本県における看護師・准看護師・看護職員全体の常勤率は、いずれも全国を下回った。

看護職員全体に占める看護師の割合（常勤換算）は、直近10年間で、全国では72.9%から82.6%に上昇し、本県では78.1%から86.0%に上昇した。本県では、直近の10年間で、全国を上回っていた看護師の構成割合がさらに高まった。

人口10万人当たり（人口10万対数）で見ると、静岡県は看護師数・准看護師数・看護職員数（看護師数＋准看護師数）は、それぞれ950.6人（47都道府県中多い順で38位；以下同じ）、164.5人（同41位）、1,115.1人（41位）であった。平成22年（2010年）の全国順位と比べると、減少率が低かった准看護師では若干順位が上がったが、看護師や准看護師を含む看護職員全体では、いずれも同程度の順位であった。

保健師・助産師・看護職員に関する調査分析結果のまとめ（1）就業看護職員数

- ・本県における人口10万対就業看護職員数は、看護師・准看護師・看護職員全体（看護師＋准看護師）のいずれも、全国順位で40位前後と低位にあり、看護職員の絶対数が少ない状況が続いている。
- ・直近の10年間では、看護師の増加率は全国を下回ったが、准看護師の減少率が全国を下回ったため、結果として、看護職員全体の増加率は全国を上回った。
- ・看護職員全体に占める看護師の割合は、直近の10年間の前後とも、本県が全国を上回った。

(4) 就業助産師数（実人数・常勤換算数・常勤率・人口10万対数/全県・全国/2010・2020年）（総括表：表2-33～35、助産師：表2-39）

令和2年（2020年）12月31日時点の届出に基づく静岡県の助産師数（実人数）は976人で、10年前の平成22年（2010年）から173人増加した。ただし、直近10年間の増加率は21.5%と、全国の27.9%を大きく下回った。

また、常勤換算の助産師数は883.1人（常勤率90.5%）で、常勤率は全国（90.5%）とほぼ同率であった。

人口10万人当たり（人口10万対数；実人数）で見ると、静岡県の助産師数は26.9人（全国38位）で、平成22年（2010年）の全国34位から後退した。

常勤換算の人口10万人当たり助産師数は24.3人で、全国（27.1人）を下回り、全国38位であった。

保健師・助産師・看護職員に関する調査分析結果のまとめ（２）就業助産師数

- ・本県における人口 10 万対就業助産師数は全国順位で 38 位と低位にあり、絶対数が少ない状況が続いている。
- ・直近の 10 年間の増加率は全国を下回り、人口 10 万対助産師数の全国順位を引き下げる原因となった。

(ウ) 就業保健師数（実人数・常勤換算数・常勤率・人口 10 万対数/全県・全国/2010・2020 年）（総括表：表 2-33～35、保健師：表 2-40）

令和 2 年（2020 年）12 月 31 日時点の届出に基づく静岡県の実人数は 1,727 人で、10 年前の平成 22 年（2010 年）から 279 人増加した。ただし、直近 10 年間の増加率は 19.3%と、全国の 23.5%を大きく下回った。

また、常勤換算の保健師数は 1,602.7 人（常勤率 92.8%）で、常勤率は全国（92.5%）とほぼ同率であった。

人口 10 万人当たり（人口 10 万対数；実人数）で見ると、静岡県の実人数は 47.5 人（全国 35 位）で、平成 22 年（2010 年）の全国 33 位から後退した。

常勤換算の人口 10 万人当たり保健師は 44.1 人で、全国（40.8 人）を上回ったが、全国順位では 35 位であった。これは、全国を下回る都道府県の人口 10 万対保健師数が少ない（主として人口が多い大都市を含む都府県）ことによるものと考えられた。直近 10 年間の常勤換算での増加率は 22.2%と、全国の 22.5%とほぼ同率であった。これは、本県の常勤率の低下が全国の半分にとどまったことによるためと考えられた。

保健師・助産師・看護職員に関する調査分析結果のまとめ（３）就業保健師数

- ・本県における人口 10 万対就業保健師数は全国を上回ったが、全国順位では 35 位と低位にある。
- ・直近の 10 年間の増加率は、実人数・人口 10 万対数では全国を下回ったが、常勤率の低下が小さかったことから、いずれも常勤換算では全国との差が小さくなった。

(エ) 総括

直近の 10 年間で、本県の保健師・助産師・看護師の人口 10 万対就業者数は増加したが、いずれも全国順位では下位に位置し、大きな変化はなかった。准看護師は、全国と同様に減少したが、減少率が全国よりも低く、結果的に全国順位が上昇した。

看護職員全体（看護師＋准看護師）は、直近の 10 年間の増加率が全国を上回った。ただし、看護師の増加率は全国を下回ったことから、准看護師の減少率が全国を下回ったことが全体の増加率に寄与したものと考えられた。看護師と准看護師の比率では、本県は看護師の割合が全国を上回った。

保健師・助産師は、直近の 10 年間の増加率が全国を下回った。

また、職種別の常勤率では、保健師・助産師は全国とほぼ同程度で、看護師・准看護師は全国をやや下回った。

厚生労働省が開催する「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会」の中間取りまとめ^{*2-14}によると、令和7年（2025年）における供給推計では、実績に基づく就業者数の推計（182万人）と都道府県の供給推計の総量（175万人）との間に約7万人の差が生じている。この要因として、後者には「ワーク・ライフ・バランスの改善による離職率の低下等が反映されていないことなどが考えられる」^{*16}としているが、医療現場の立場からみると、両方で約4%の差を生じる要因を明らかにし、需給バランスを均衡させる方策が望まれる。

本県の場合、全国的にみると看護職員が不足している県の例示には含まれていないが、上記の供給推計の比が本県以上の県も例示に含まれている（図2-67）ことに留意する必要がある。今後は、医師の働き方改革に伴うタスク・シフト/シェアの推進（図2-68）などにより、職種を問わず、医療従事者の業務量が増加することが見込まれることから、保健師・助産師・看護師の絶対数が少ない本県においては、引き続き、それぞれの就業者の確保と離職防止を図っていくとともに、常勤率を高めるための取組が必要であると考えられた。

保健師・助産師・看護職員に関する調査分析結果のまとめ（3）総括

- ・直近の10年間で、本県の保健師・助産師・看護師の人口10万対就業者数は増加（准看護師は減少）したが、いずれも全国順位では下位に位置していた。
- ・保健師・助産師・看護師の増加率は、いずれも全国を下回った。
- ・全国的に減少している准看護師の減少率は全国を下回ったため、看護職員全体の増加率は全国を上回った。
- ・職種別の常勤率は、保健師・助産師が全国とほぼ同程度、看護師・准看護師が全国を下回った。
- ・引き続き、就業者の確保と離職防止を図り、常勤率を高めるための取組が必要であると考えられた。

*2-14 厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会」中間取りまとめ（令和元年11月15日公表）概要版。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000567573.pdf>（令和4年3月28日確認）

図2-65 医師の働き方改革

医師の働き方改革

これからの我が国の医療は医師の長時間労働により支えられており、今後、医療ニーズの変化や医療の高度化、少子化に伴う医師の担い手の減少が進む中で、医師個人に対する負担がさらに増加することが予想される。

医師が健康に働き続けることのできる環境を整備することは、医師本人にとっても、患者・国民に対して提供される医療の質・安全を確保すると同時に、持続可能な医療提供体制を維持していく上で重要なことである。

地域医療提供体制の改革や、各職種の専門性を活かして患者により質の高い医療を提供するタスクフォースの推進と併せて、医療機関における医師の働き方改革に取り組む必要がある。

現状

- 【医師の長時間労働】**
 - 病院常勤勤務医の約4割が960時間超。
 - 約1割が年1,860時間超の長時間・休日労働
 - 特に救急、産婦人科、外科や若手の医師は長時間の傾向が強い
- 【労務管理が不十分】**
 - 36協定が未締結や、柔軟な時間管理が行われていない医療機関も存在
- 【業務が医師に集中】**
 - 患者への現状説明や血圧測定、記録作成なども医師が担当

対策

- 長時間労働を生む構造的な問題への取組**
 - 医療機関の最適配置の推進 (地域医療振興・外来医療の明確化)
 - 地域間・診療科間の医師偏在の是正
 - 国民の理解と協力に基づく適切な受診の推進
- 時間外労働の上限規制と健康確保措置の適用 (2024.4〜) 法改正対応**
 - 医師の健康確保
 - 面接指導
 - 努力義務
 - 業務
 - 業務
 - 業務
- 医師の健康確保**
 - 健康診断を医師がチェック
 - 休憩時間の確保
 - 連続勤務時間制限と勤務間インターバル規制 (または代償休息)

厚生労働省「第7回 第8次医療計画等に関する検討会」(令和4年3月4日開催)資料1 から抜粋
<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000911302.pdf> (令和4年3月28日確認)

表2-33 静岡県における就業医療関係者数の変化 (1)
(保助看就業者数-職種別/実人員/2010・2020年)

	2010年(人)	2020年(人)	増減(人)	増減(%)	
保健師	静岡県	1,448	1,727	279	19.3%
	全国	45,028	55,595	10,567	23.5%
助産師	静岡県	803	976	173	21.5%
	全国	29,672	37,940	8,268	27.9%
看護師	静岡県	25,908	34,536	8,628	33.3%
	全国	952,723	1,280,911	328,188	34.4%
准看護師	静岡県	7,584	5,977	▲1,607	▲21.2%
	全国	368,148	284,589	▲83,559	▲22.7%
看護職員(再掲) (看護師+准看護師)	静岡県	33,492 (77.4%)	40,513 (85.2%)	7,021	21.0%
	全国	1,320,871 (72.1%)	1,565,500 (81.8%)	244,629	18.5%

※ 看護職員(再掲)のカッコ内は、看護師の占める割合。

厚生労働省「衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況」を基に作成
 All rights reserved. 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support
 浜松医科大学
 Hamamatsu University School of Medicine

図2-66 医療・福祉人材の需要
マンパワー① 2025年以降、人材確保がますます課題となる

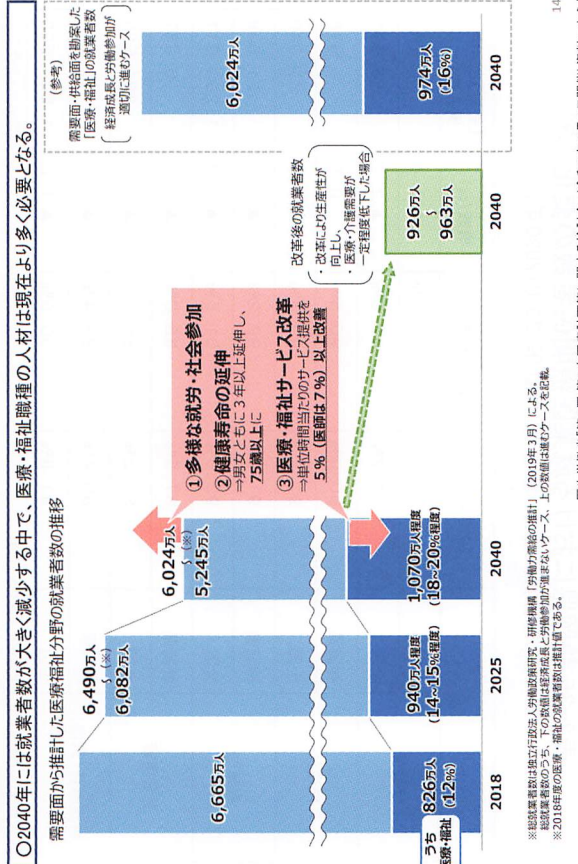


表2-34 静岡県における就業医療関係者数の変化 (2)
(保助看就業者数-職種別/常勤換算/2010・2020年)

	2010年(人)	2020年(人)	増減(人)	増減(%)	
保健師	静岡県	1,360.0	1,602.7	242.7	17.8%
	全国	42,632.3	51,405.1	8,772.8	20.6%
助産師	静岡県	722.9	883.1	160.2	22.2%
	全国	27,195.0	34,248.4	7,053.4	25.9%
看護師	静岡県	23,626.7	31,155.1	7,528.4	31.9%
	全国	884,583.6	1,172,014.1	287,430.5	32.5%
准看護師	静岡県	6,638.5	5,081.8	▲1,556.7	▲23.4%
	全国	328,242.1	246,696.0	▲81,546.1	▲24.8%
看護職員(再掲) (看護師+准看護師)	静岡県	30,265.2 (78.1%)	36,236.9 (86.0%)	5,971.7	19.7%
	全国	1,212,825.7 (72.9%)	1,418,710.1 (82.6%)	205,884.4	17.0%

※ 看護職員(再掲)のカッコ内は、看護師の占める割合。

厚生労働省「衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況」を基に作成
 All rights reserved. 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support
 浜松医科大学
 Hamamatsu University School of Medicine

表2-35 静岡県における就業医療関係者数の変化 (3)

(実人数・常勤換算・常勤率・人口10万対数・常勤換算・全国順位/静岡県・全国/2010・2020年)

	2010年 (%)		2020年 (%)	増減 (pt)	【参考】2020年 実人数 (人)
	保健師	静岡県	93.9%	92.8%	▲ 1.1
	全国	94.7%	92.5%	▲ 2.2	55,595
助産師	静岡県	90.0%	90.5%	0.5	976
	全国	91.7%	90.3%	▲ 1.4	37,940
看護師	静岡県	91.2%	90.2%	▲ 1.0	34,536
	全国	92.8%	91.5%	▲ 1.3	1,280,911
准看護師	静岡県	87.5%	85.0%	▲ 2.5	5,977
	全国	89.2%	86.7%	▲ 2.5	284,589
看護職員 (再掲) (看護師+准看護師)	静岡県	90.4%	89.4%	▲ 0.9	40,513
	全国	91.8%	90.6%	▲ 1.2	1,565,500

※ 常勤率・常勤換算の就業者数を実人数で除した率。

厚生労働省「衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況」を基に作成



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

表2-37 就業准看護師の状況

(実人数・常勤換算・常勤率・人口10万対数・常勤換算・全国順位/静岡県・全国/2010・2020年)

(単位:人・%)

項目	2010年	2020年	増減
実人数 (①)	7,584	5,977	▲ 21.2%
常勤換算 (②)	6,638.5	5,081.8	▲ 23.4%
常勤率 (②/①)	87.5%	85.0%	▲ 2.5%
人口10万対数	201.4 (43位)	164.5 (41位)	▲ 18.3%
常勤換算	176.3 (43位)	139.9 (40位)	▲ 20.6%
実人数 (③)	368,148	284,589	▲ 22.7%
常勤換算 (④)	328,242.1	246,696.0	▲ 24.8%
常勤率 (④/③)	89.2%	86.7%	▲ 2.5%
人口10万対数	287.5	225.6	▲ 21.5%
常勤換算	256.3	195.6	▲ 23.7%

※ 静岡県の人口10万対数のカッコ内は全国順位(降順)

厚生労働省「衛生行政報告例(就業医療関係者)」、総務省統計局「国勢調査人口等基本集計」を基に作成



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

表2-36 就業看護師の状況

(実人数・常勤換算・常勤率・人口10万対数・常勤換算・全国順位/静岡県・全国/2010・2020年)

(単位:人・%)

項目	2010年	2020年	増減
実人数 (①)	25,908	34,536	33.3%
常勤換算 (②)	23,626.7	31,155.1	31.9%
常勤率 (②/①)	91.2%	90.2%	▲ 1.0%
人口10万対数	688.1 (38位)	950.6 (38位)	38.1%
常勤換算	627.5 (39位)	857.5 (38位)	36.7%
実人数 (③)	952,723	1,280,911	34.4%
常勤換算 (④)	884,583.6	1,172,014.1	32.5%
常勤率 (④/③)	92.8%	91.5%	▲ 1.3%
人口10万対数	744.0	1,015.4	36.5%
常勤換算	690.8	929.1	34.5%

※ 静岡県の人口10万対数のカッコ内は全国順位(降順)

厚生労働省「衛生行政報告例(就業医療関係者)」、総務省統計局「国勢調査人口等基本集計」を基に作成



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

表2-38 就業看護職員(看護師+准看護師)の状況

(実人数・常勤換算・常勤率・人口10万対数・常勤換算・全国順位/静岡県・全国/2010・2020年)

(単位:人・%)

項目	2010年	2020年	増減
実人数 (①)	33,492	40,513	21.0%
常勤換算 (②)	30,265.2	36,236.9	19.7%
常勤率 (②/①)	90.4%	89.4%	▲ 0.9%
看護師比率(常勤換算)	78.1%	86.0%	7.9%
人口10万対数	889.6 (41位)	1,115.1 (41位)	25.3%
常勤換算	803.9 (41位)	997.4 (41位)	24.1%
実人数 (③)	1,320,871	1,565,500	18.5%
常勤換算 (④)	1,212,825.7	1,418,710.1	17.0%
常勤率 (④/③)	91.8%	90.6%	▲ 1.2%
看護師比率(常勤換算)	72.9%	82.6%	9.7%
人口10万対数	1,031.5	1,241.0	20.3%
常勤換算	947.1	1,124.7	18.8%

※ 静岡県の人口10万対数のカッコ内は全国順位(降順)

厚生労働省「衛生行政報告例(就業医療関係者)」、総務省統計局「国勢調査人口等基本集計」を基に作成



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

表2-39 就業助産師の状況

(実人数-常勤換算・常勤率、人口10万対数-常勤換算・全国順位・静岡県・全国/2010・2020年)
(単位:人・%)

項目	2010年	2020年	増減
実人数(①)	803	976	21.5%
常勤換算(②)	722.9	883.1	22.2%
常勤率(②/①)	90.0%	90.5%	0.5%
人口10万対数	21.3 (34位)	26.9 (38位)	26.3%
常勤換算	19.2 (36位)	24.3 (38位)	26.6%
実人数(③)	29,672	37,940	27.9%
常勤換算(④)	27,195.0	34,248.4	25.9%
常勤率(④/③)	91.7%	90.3%	▲1.4%
人口10万対数	23.2	30.1	29.7%
常勤換算	21.2	27.1	27.8%

※ 静岡県の人口10万対数のカッコ内は全国順位(降順)

厚生労働省「衛生行政報告例(就業医療関係者)」, 総務省統計局「国勢調査人口等基本集計」を基に作成



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

表2-40 就業保健師の状況

(実人数-常勤換算・常勤率、人口10万対数-常勤換算・全国順位・静岡県・全国/2010・2020年)
(単位:人・%)

項目	2010年	2020年	増減
実人数(①)	1,448	1,727	19.3%
常勤換算(②)	1,360.0	1,602.7	17.8%
常勤率(②/①)	93.9%	92.8%	▲1.1%
人口10万対数	38.5 (33位)	47.5 (35位)	23.4%
常勤換算	36.1 (33位)	44.1 (35位)	22.2%
実人数(③)	45,028	55,595	23.5%
常勤換算(④)	42,632.3	51,405.1	20.6%
常勤率(④/③)	94.7%	92.5%	▲2.2%
人口10万対数	35.2	44.1	25.3%
常勤換算	33.3	40.8	22.5%

※ 静岡県の人口10万対数のカッコ内は全国順位(降順)

※ 静岡県は人口10万対数就業保健師数が全国を上回るが、全国を下回る静岡県内の人口10万対数保健師数が少ない(主に人口が多い大都市を言及)都府県)ため、人口10万対数就業保健師数の全国順位が低くなっている。

厚生労働省「衛生行政報告例(就業医療関係者)」, 総務省統計局「国勢調査人口等基本集計」を基に作成



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

図2-67 看護職員の需給推計結果(都道府県別)

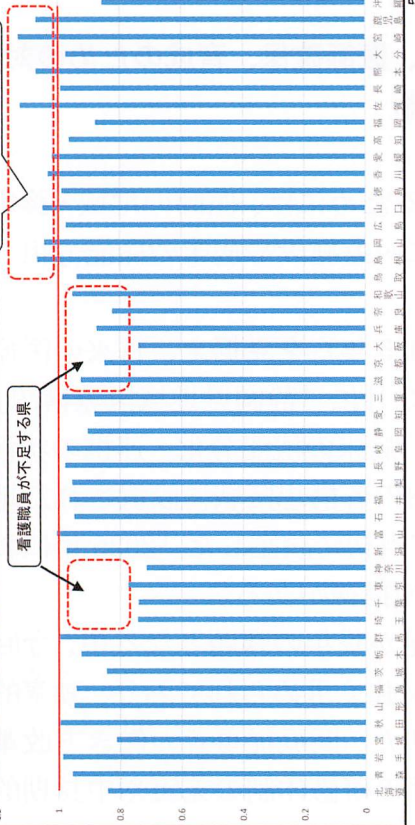
医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ(概要版)

看護職員の需給推計結果(都道府県別)

○ 都道府県別でみた場合、都心部や東北地方では依然として都道府県内全体として看護職員需給数が供給のそれを上回り、看護職員不足となる一方で、一部の都道府県において2016年時点のその需給が少い需給推計結果が少い需給推計結果となることもしばしば見られる。

【各都道府県別の2016年度と2025年度(シナリオ②)の比較(2016年度/2025年度(シナリオ②))】

※ 1より見れば、2015年度(シナリオ②)は2016年度(シナリオ②)より看護職員不足



厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ(令和元年11月15日公表)概要版から抜粋
https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000567573.pdf(令和4年3月28日確認)

図2-68 タスク・ソフトウェアの推進 特に推進するとしたもの<職種別まとめ>

特に推進するとしたもの<職種別まとめ>

- ◆ 特に推進するもの考え方 (次の5項目を目安に、職種ごとに示す)
 - タスクソフトウェアする側 (医師団体、病院団体、担当の業務)
 - 特に長時間労働を行っていると思われる診療科や施設診療科に関連する業務
 - ある病院における業務時間の実態に基づき月間の有償可能時間推計が大きい業務

職種ごとの推進するもの

職種	推進するもの
救急科(20)	医師(20)
救急科(20)	医師(20)
救急科(20)	医師(20)

職種ごとの推進するもの

職種	推進するもの
救急科(20)	医師(20)
救急科(20)	医師(20)
救急科(20)	医師(20)